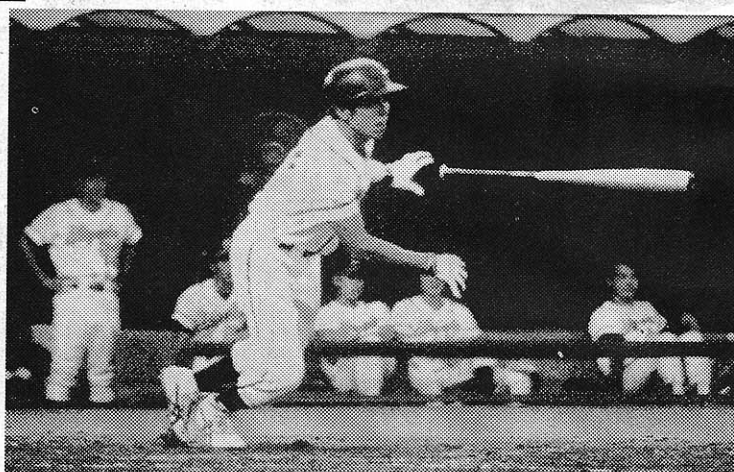


静岡硬式ク7年ぶりV

▽決勝 (新章上) フジワン 0010000 101
200011X 101
静岡硬式野球倶楽部 (7回コールド)
▽甲斐 村松一原 (勝) 実石一田造
▽三塁打 小長谷順(フ)▽二塁打 石垣、小長谷順、富田(勝) 原、大石(フ)

▽スポンサ後援全日本クラブ野球県予選 (18日 新章上) 静岡硬式倶楽部が平成4年以来6回目の優勝を飾り、8月23日から西武球場で行われる全国大会に出場する。11年ぶりに都市対抗2次予選に出場した経験を生かし、準決勝、決勝をコールドゲームで勝った。全員が仕事と野球を両立している。仕事も公務員から夜勤なきまで。3、4人だけの練習の日も多い。場所の確保も苦労しているが、今回は杉山克巳監督(32)の母校・東海大翔洋(元東海大工)が、夏の大会に備え、早い時間帯で練習の結果、夕方からグラウンドを利用できた。「久しぶりにマシンで練習ができました」(杉山監督)が猛打につながった。

球部 野 静岡硬式 初戦 敗退 無念



<静岡硬式・全足利>四回、静岡硬式・長島は右前にタイムリーを放つ

▽スポンサ後援全日本クラブ野球選手権 (23日 西武ドーム) 静岡硬式野球倶楽部(静岡) 0014000 0000 6020310 022155 全足利クラブ(栃木) (6回コールド)
▽勝 実石、松浦、金田、田造 (全)相沢、橋本
▽三塁打 橋本、野中、大川 (全)▽二塁打 推名、橋本 (全)望月、秋山、高田、静

▽スポンサ後援全日本クラブ野球選手権 (8回コールド) 静岡硬式野球倶楽部 1000100 0500 011 0012000 57 富田クラブ (フ) 杉山、小泉、松尾一原 (奮) 佐野竜、佐野雅一、望月久
▽三塁打 草ヶ谷(フ)▽二塁打 草ヶ谷、遠藤(フ) 藤田、後尾、中山(奮) ゲッツベースボール倶楽部 0000220 00 1311400 01114 静岡硬式野球倶楽部 (8回コールド)
▽勝 渋谷、望月、鈴木茂、鈴木康 (勝) 松浦、石川、田造、石切山
▽二塁打 長島、小長谷和 (勝) 渋谷(フ)



7年ぶりに県王者に復活した静岡硬式野球倶楽部

かみかわ野球クラブ乱打戦制す

全日本クラブ野球第1回 第24回全日本クラブ野球選手権大会(スポーツニッポン新聞社後援)は23日、西武ドームで1回戦4試合が行われた。第1試合は両チーム合わせて40安打と1試合最多安打の大会記録(37安打)を塗り替える乱打戦。かみかわ野球クラブ(関東・埼玉)が15-9で新潟クラブ野球団(北信越・新潟)を破り、2回戦に駒を進めた。

▽1回戦
かみかわ野球クラブ(関東・埼玉) 2001009 0400 0101100 04200 915
新潟クラブ野球団(北信越・新潟) 0101100 04200 915
▽勝 徳田、櫻口、橋本 (全)渡辺、伊藤、石川、高田、島田
大和高田クラブ(近畿・三重) 313210000 111
東北福祉大学クラブ(東北・宮城) 001000000
大 小林、谷津、森本
上岡、橋本、山田、橋、久慈
久慈クラブ(東北・岩手) 00000002000
W I E N 94 (関東・東京) 0200000200X
大沢、八重樫、米内、志村、倉光、中沢

2木	ヤ横	横
1水	ヤ横	東横
31火	ヤ横	東横
30日	巨東	中東
29日	中横	神甲
28日	中横	神甲
27日	中横	神甲
26日	中横	神甲
25日	水巨	東横
24日	水巨	東横
23日	水巨	東横
22日	水巨	東横
21日	水巨	東横
20日	水巨	東横
19日	水巨	東横
18日	水巨	東横
17日	水巨	東横
16日	水巨	東横
15日	水巨	東横
14日	水巨	東横
13日	水巨	東横
12日	水巨	東横
11日	水巨	東横
10日	水巨	東横
9日	水巨	東横
8日	水巨	東横
7日	水巨	東横
6日	水巨	東横
5日	水巨	東横
4日	水巨	東横
3日	水巨	東横
2日	水巨	東横
1日	水巨	東横

手違いで先発も

1回戦4試合が行われ、東海代表の静岡硬式野球倶楽部は、優勝候補全足利クラブと対戦。四回に4短長打を集め4点を奪ったものの5-15、八回コールド負けを喫した。

杉山克巳監督(32)が申し訳なきように口を開いた。先発には当初、松浦隆行(28)を予定していた。ところが、手違いで実石琢也(25)の名前をメンバー用紙に書いてしまった。「気持ちの整理がついていないままマウンドに送り込んでしまつて悪いことをした。来年はもっと伸び伸び投げさせてやりたい」初回、全足利の打者一巡の猛攻にあい、6点を献上した。代役をかばった。

それでも実石は「初めての西武ドームのマウンドは気持ちよかった。無心でいったので全然緊張しなかった。打たれたのは駄目だったけど大満足です」と笑顔を見せた。

投げられて気持ちよかった

美石感激の西武マウンド

打線も四回、長島猛(24)の右前2点打などで4点を返す粘りを見せ、杉山監督は「うちらしい攻撃ができた」やっとな顔をほころばせた。就任1年目でここにつれてきてもらって選手には感謝しています。監督としてもっと勉強して来年は必ずリベンジします」と誓った。

(板橋 友紀子)